



Q. 次の絵を見て、あとの問題に挑戦しよう。



① この人物の名前を答えよう。

② 次の文章の（ ）をうめてみよう。

奈良時代の僧行基によって修築された（ ）は、後に（ ）貿易に力を注ぐ（ ①の人物 ）によって整備され、国際港として歩み始めた。平氏が滅亡したことで、一時中断したが、港はやがて（ ）とよばれるようになり、国内外を問わず多くの船が行き交う港となった。

室町時代に入っても（ ）貿易の拠点となり、重要性が増していった。

# 年 組 番

③ 平安時代の終わりごろ、①の人物と争った源氏のかしらの名前を答えよう。

④ 源氏との争乱の末、1185年に平氏が滅亡に追い込まれた場所は、現在の山口県にある。何というところか、答えよう。

⑤ 絵の人物は、神戸の港にやって来る船を風から守るため、海をうめたて人工島をつかった。その島は何と呼ばれるか、答えよう。

⑥ 源氏との争乱は、およそ20回行われている。戦いを1つ選んで、内容やエピソードを自由に調べてみよう。

の戦い	内容やエピソードなど

⑦ 絵の人物はどのようにして、政治の権力をにぎったのか。理由を説明してみよう。